

国公立大学に合格した山口君(平成27年度卒業)にインタビュー

Q, 大学名と学部・学科名を教えてください。

A, 豊橋技術科学大学 工学部 環境・生命工学課程です。
愛知県の豊橋市にある、工学系に特化した大学です。

Q, 小論文対策はどうしましたか。

A, 3年生になった頃から国語の先生に指導をしていただきました。課題をいただいて書き、指導をいただいてまた書くということを繰り返しました。徐々に書けるようになっていくのを感じることができ、励みになりました。日頃から新聞や本を読むことは、小論文を書く上で大切だと感じました。

Q, 入試の内容について教えてください。

A, 「工業等に関する学科」からのみ出願できる推薦入試で受験しました。僕が受験した環境・生命工学課程は、農業高校や総合学科からも受験することができます。センター試験は課されず、試験は11月下旬です。選抜の方法は、
・面接(口述試験を含む)
・小論文
・素養調査(数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ)
で、もちろん学校での成績等(調査書)も選抜の内容に含まれます。



Q, 面接についてはどうですか。

A, 3年生の夏頃から、学科の先生に何度も指導していただきました。不足している内容を指摘してもらい、それに対する備えをして次回の面接練習に臨みました。受験直前には校長先生にもご指導いただき、当日は自信を持って面接を受けることができました。

Q, いっごろ受験する大学を決めましたか。

A, 具体的に受験大学を絞ったのは3年生の1学期の終わりですが、どの大学を受験することになっても良いように、1年生から家庭での学習時間も確保し、意識して過ごしました。

Q, 豊橋技術科学大学以外の大学は受験しましたか。

A, 指定校推薦は受けることができませんが、私立大学の推薦入試と併願することができます。僕は、力試しも兼ねて3校受験し合格していましたので、万が一の時のことも心配せず豊橋技術科学大学の入試に臨むことができました。

Q, 受験のためにどんな勉強をしましたか。

A, 毎日の授業を大事したことで、結果的にいわゆる内申点が上がりました。数学と英語については塾に通っていましたが、入試のためと言うよりも自分の実力をアップするために必要だと考えたためです。

Q, 後輩にアドバイスをお願いします。

A, 工業高校生に有利な、国公立大学推薦入試枠があります。地道な努力を重ねれば、合格への道が開けます。部活動との両立も十分に可能です。高い目標に向かってぜひ頑張ってください。